

Business Gallery

第391回

中村電設工業（株）

—— 電気設備のことなら“ナカデン”におまかせ

今回紹介する中村電設工業（株）は、公共施設・ビル・マンション・工場などの大型物件から個人住宅まで幅広く手がける老舗の電気設備工事業者。

「弊社は、1964年に私の父が創業し、当時の幸手町の体育館や学校などの公共工事や、ビル、病院、物流施設などゼネコンの下請け仕事を手がけ業容を拡大してきました」と話すのは2代目の中村康宏社長。

2014年に先代から経営を引き継いでからは、製造業者のラインの組み替え、新規設備の導入など民間元請けの受注拡大に注力してきた。2015年には島根電工（株）（島根県松江市）が展開する『住まいのおたすけ隊』のフランチャイズにも加盟し、照明の交換やコンセント工事、省エネやEV関連など地域の個人住宅向けの案件にも対応している。

「景気の良し悪しに関わらず、会社は従業員とその家族のために一定の利益を確保しなければいけません。そのためには下請けだけでなく利幅のある元請けの仕事が必要です。エンドユーザーからの案件は単価が大きな工事ばかりではないですが、お客様の課題解決に直接取り組むことによって会社の評判が上がりますし、相乗効果として民間の元請けの受注にもつながります」（中村社長）

当社の特徴は充実した社員教育。不動産業界出身の中村社長は会社を引き継いだ際、畑が違う電気工事の知識や経営についていろいろ学ぶなかで社員教育の大切さを痛感した。以降、幹部や一般社員が等級に合わせた外部研修を行うほか、現場



中村社長と幸手支店の新社屋

代理人（現場監督）の育成カリキュラム、新入社員教育プログラムを作るなど社員教育の充実を図ってきた。

「新入社員のほとんどが実は文系です。彼らが一人前になるために、何を学んで身につけなければいけないか。そのためのプログラムを作り実行しています。それを見える化するほか、定例会を行って育成の過程について皆が共有できる体制を作っています」（中村社長）

業務に関連する資格取得も推奨しており、第二種電気工事士の取得率はなんと100%。新入社員も内定承諾を得てからすぐ学習に入る。技能は先輩社員から教わるため、入社前から仲良くなり、内定辞退者はゼロだ。

「弊社は人間関係が良好で居心地がよいと言われます。創業者の人柄がそうだったからかもしれませんが、それが弊社の強みのひとつかもしれません」と中村社長は話す。

企業概要

中村電設工業（株）

企業コード：270095364

法人番号：2030001006231

所在地：さいたま市岩槻区本町6-5-22

代表者：中村 康宏氏

設立：1970年（昭和45年）10月

年売上高：約11億3900万円（2022年5月期）

URL：<http://www.nakamura-densetu.co.jp/>